



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月7日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6769 URL <http://www.thine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野上 一孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 康裕 TEL 03 (5217) 6660
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	772	△0.7	39	76.3	144	—	89	—
26年12月期第1四半期	777	7.4	22	—	△4	—	△11	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △23百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △21百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	8.53	8.47
26年12月期第1四半期	△0.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	9,903	9,366	94.3
26年12月期	10,146	9,478	93.2

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 9,342百万円 26年12月期 9,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期（予想）	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,025	18.7	73	25.7	163	39.8	99	3.6	9.49
通期	4,737	27.6	706	89.8	856	△3.5	557	△15.6	53.20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期 1 Q	12,340,100株	26年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	27年12月期 1 Q	1,852,670株	26年12月期	1,862,570株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期 1 Q	10,480,614株	26年12月期 1 Q	12,122,130株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、緩やかな回復傾向も見られる一方で、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクを懸念させる状況が続きました。

このような環境の下で、当社グループは2016年を目標年次とする中期経営戦略「REGROW」に基づき、地域と市場と技術の各ポートフォリオを強化することにより、過去最高の営業利益水準への再成長を目指しております。この実現に向けて、世界市場における活動体制の強化、産業機器、民生機器、モバイル機器および車載機器の戦略4市場への積極的展開、そして特定分野における世界ナンバーワンのソリューション提供に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、産業機器（事務機器、アミューズメント、セキュリティカメラなど）向けビジネスが継続的に利益を牽引し、売上総利益を前年同期比で約3割増加させることができました。民生機器市場においては、利益率の低いテレビ向けビジネスを大きく減らす一方、当社グループが提供する高速情報伝送技術のデファクトスタンダード（事実上の世界標準）であるV-by-One®HS技術が4Kテレビ等に活用される状況が続きました。モバイル機器向けビジネスにおいては、1600万画素に対応した画像処理用LSI製品を国内外で拡販し、売上総利益を増加させることができました。車載機器市場においては、アジア向けドライブレコーダ関連ビジネスが一巡しましたが、日本や欧州の車載機器市場に向けたV-by-One®HSビジネスやASSP（特定用途向け標準品）の表示制御用LSI新製品も量産出荷を開始するなど、積極的な営業活動を行いました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7億72百万円（前年同期比0.7%減）、売上総利益は5億17百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間においても効率的な研究開発活動を継続しつつ、将来の成長の鍵となる技術を積極的に開発しました。車載カメラ等でも適用できるフルHDの高解像度画像を1ペア線のみで伝送可能なV-by-One®HS新製品のサンプル出荷を開始したほか、当期の重要な柱である次世代高速インターフェース技術の開発、車載インフォテインメント等の表示制御用LSI技術、配線をスマート化するモータードライバ技術、高解像度カメラ画像処理技術の開発などを行い、研究開発費2億81百万円（前年同期比1.3%減）を投じました。

これらにより、当第1四半期連結累計期間における営業利益は39百万円（前年同期比76.3%増）となりました。また、資金運用の分配金収入、為替差損などが発生した結果、経常利益は1億44百万円（前年同期比1億49百万円の改善）、四半期純利益は89百万円（前年同期比1億円の改善）となりました。なお、当第1四半期連結会計期間末日において約14百万USドルのドル建て資産を保有しておりますが、これらは今後の製造委託や新技術の研究開発および試作などのために活用する方針です。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益を1億44百万円計上し、売上債権が2億60百万円減少したこと等により1億75百万円のプラスとなりました。

（前年同期は2億9百万円のプラス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、固定資産の取得による支出等により0百万円のマイナスとなりました。（前年同期は1百万円のマイナス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により89百万円のマイナスとなりました。

（前年同期は84百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として80百万円増加して、当第1四半期連結会計期間末残高は66億38百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の通期業績予想については、平成27年2月5日に公表しました業績予想から変更はありません。なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,558,340	6,638,441
売掛金	609,707	348,669
営業投資有価証券	26,684	26,414
商品及び製品	222,019	263,569
仕掛品	54,856	72,603
原材料	62,092	58,893
繰延税金資産	34,859	33,167
その他	63,211	132,141
流動資産合計	7,631,772	7,573,901
固定資産		
有形固定資産	111,926	104,220
無形固定資産	11,161	10,277
投資その他の資産		
投資有価証券	2,308,321	2,132,065
その他	83,042	82,611
投資その他の資産合計	2,391,363	2,214,676
固定資産合計	2,514,451	2,329,174
資産合計	10,146,224	9,903,076
負債の部		
流動負債		
買掛金	200,442	196,522
未払法人税等	88,448	43,102
賞与引当金	52,957	72,887
役員賞与引当金	15,000	3,750
その他	199,319	180,464
流動負債合計	556,167	496,727
固定負債		
繰延税金負債	87,752	16,758
資産除去債務	23,426	23,506
固定負債合計	111,179	40,265
負債合計	667,346	536,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,291,162	1,291,162
利益剰余金	9,535,688	9,522,959
自己株式	△2,790,041	△2,775,211
株主資本合計	9,212,076	9,214,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,353	59,833
為替換算調整勘定	71,405	68,909
その他の包括利益累計額合計	241,758	128,742
新株予約権	25,042	23,163
純資産合計	9,478,877	9,366,083
負債純資産合計	10,146,224	9,903,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	777,168	772,015
売上原価	280,770	254,550
売上総利益	496,397	517,465
販売費及び一般管理費	474,083	478,128
営業利益	22,314	39,337
営業外収益		
受取利息	1,720	1,168
受取配当金	—	110,620
未払配当金除斥益	790	—
雑収入	225	236
営業外収益合計	2,735	112,026
営業外費用		
為替差損	29,140	6,444
営業外費用合計	29,140	6,444
経常利益又は経常損失(△)	△4,090	144,919
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△4,090	144,919
法人税等	7,078	55,518
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△11,168	89,401
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,168	89,401

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△11,168	89,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△110,520
為替換算調整勘定	△10,646	△2,496
その他の包括利益合計	△10,646	△113,016
四半期包括利益	△21,815	△23,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,815	△23,614
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,090	144,919
減価償却費	14,118	8,727
株式報酬費用	6,590	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,564	19,930
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,000	△11,250
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,808	—
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	42,900	270
受取利息及び受取配当金	△1,720	△111,789
為替差損益(△は益)	26,839	4,963
売上債権の増減額(△は増加)	343,482	260,242
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,017	△56,097
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△79,573	△68,432
仕入債務の増減額(△は減少)	△82,797	△3,919
その他の流動負債の増減額(△は減少)	12,719	△20,963
その他	△63	95
小計	233,760	166,695
利息及び配当金の受取額	1,443	111,921
法人税等の支払額	△25,278	△102,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,926	175,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,768	△847
敷金の回収による収入	358	473
敷金の差入による支出	△456	—
その他	△69	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,935	△399
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△84,854	△94,297
ストックオプションの行使による収入	—	5,118
その他	315	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,539	△89,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,675	△6,104
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87,775	80,100
現金及び現金同等物の期首残高	10,226,116	6,558,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,313,892	6,638,441

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。